

# 平成音楽大学 ブラスオーケストラ 2018演奏会

## プログラム

### 〔第1部〕

- ♪ 復興／保科 洋 作曲
- ♪ ユーフォニアム協奏曲／F.ヒダシユ 作曲 ユーフォニアム：弘中優大

2018年度全日本吹奏楽コンクール課題曲

- ♪ II. マーチ・ワンダフル・ヴォヤージュ／ノ瀬季生 作曲
- ♪ III. 吹奏楽のための「ワルツ」／高 昌帥 作曲
- ♪ IV. コンサート・マーチ「虹色の未来へ」／郷間幹男 作曲

～休憩～

### 〔第2部〕

～くまもとを元気に!～ 〈第54回国民体育大会委嘱作品〉

- ♪ くまもと未来マーチ／出田敬三 作・編曲  
(くまもと未来国体イメージソング「未来」／森高千里 作曲、「熊本県民の歌」／出田憲二 作曲)

～L.バーンスタイン生誕100年記念～

- ♪ 「ウェスト・サイド・ストーリー」セレクション／L.バーンスタイン 作曲

〈作曲家シリーズコーナー／作曲家・平尾昌晃を偲んで〉

～トーク&ピアノ～／合唱・ボーカルアンサンブル

- ♪ グッドバイ マイラブ／必殺!
- ♪ 瀬戸の花嫁／わたしの城下町／二人でお酒を／霧の摩周湖

- ♪ ディズニーメドレー／岩井直溥 編曲

〈合同演奏－高校生との共演シリーズ〉

～みんなの心にやさしく～

- ♪ ユア ハンド マイ ハート (NHK「みんなのうた」)
- ～我がこころのふるさと「くまもと」を讀えて～
- ♪ おもいで宝箱／出田敬三 作曲

- ♪ ラテツキー行進曲／J.シュトラウス1世 作曲

音楽監督・指揮：出田 敬三

〔出演〕 合唱：女声合唱団「平成カンマーコールA・S」

パフォーマーズ：平成音楽大学子ども学科

吹奏楽：平成音楽大学ブラスオーケストラ

熊本県内高校生による吹奏楽団

東海大学付属熊本星翔高等学校 熊本国府高等学校 熊本中央高等学校  
九州学院高等学校 熊本県立御船高等学校 菊池女子高等学校  
真和高等学校 専修大学玉名高等学校

※出演校が都合により変更になる場合もあります。  
あらかじめご了承ください。

司 会：田中万柚子、沼田歩乃佳



音楽監督

第2部 指揮・トーク&編曲・ピアノ  
出田 敬三



指揮 (第1部)  
柴田 裕二

平成音楽大学講師  
トランペット奏者  
福岡工業大学吹奏楽団指揮者



ユーフォニアム  
弘中 優大

平成音楽大学講師  
UARK Concerto & Aria Competition 第1位 他



1997年ニューヨーク・カーネギーホール本学単独公演



女声合唱団「平成カンマーコール」

# 2018年 6月21日(木)

●開場 PM6:30 ●開演 PM7:00

## 熊本県立劇場コンサートホール

入場料 一般2,500円 学生1,500円 (大学生以下)

### 主催 平成音楽大学

後援 熊本県教育委員会、熊本市、熊本県文化協会、熊本県吹奏楽連盟、熊本日日新聞社、NHK熊本放送局、RKK、TKU、KKT、FMK、KAB、FM791、大学コンソーシアム熊本、響和会(平成音楽大学・熊本音楽短期大学 同窓会)

## プロフィール

### 出田 敬三 Keizo IDETA 音楽監督／第2部 指揮・トーク& 編曲・ピアノ

作曲家。指揮者。

ウィーン国立音楽大学作曲科卒業。ウィーン市立音楽院指揮科修了。

作曲を高田三郎、E. ウルバンナー、指揮をG. ロジェストヴェンスキー、P. シュヴァルト、合唱指揮をG. トイリング、トランペットを北村源三の各氏に師事。ニューヨーク・カーネギーホール、ヨーロッパ、アジア等、国内外で活躍。

作品はオペラ「細川ガラシア」「おてもものバツテン嫁入り」「南風(はえ)吹けば楠若葉(くすわかば)」をはじめ、現代音楽、ピアノ協奏曲、古典音楽(国体・全国高校総体等)、放送音楽、ポップス、童謡、NHK「みんなのうた」、「おもいで宝箱」(島津亜矢・テイチク)まで作品は幅広い。合唱曲集「コーラス ラララ」(カワイ出版)や小学校教科書「どんなゆめ」(教育出版)等、多数出版。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団や九州交響楽団等を指揮。

米国・モンタナ州ボーズマン市「名誉市民章」、「くまもと県民文化賞・特別賞」「熊本県文化懇話会賞」等受賞。

2013年3月、ウィーン楽友協会大ホールで「ファゴット協奏曲」(独奏・馬込勇)が演奏。「交響詩曲「伊東マンショ～時を超える祈り～」」が2017年3月、サン・ジョバンニ・イン・ラテラノ教会(イタリア・ローマ)にて世界初演。9月にはカワイ出版より混声合唱(ピアノ伴奏)版の楽譜が出版された。

2017年8月、ブロックフルートとファゴットのための「日本・熊本民謡による幻想曲」がオーストリア・リンツで、第59回熊本県芸術文化祭オープニングステージ委嘱作品 マリンバとオーケストラのための協奏曲「祈り」(マリンバ独奏・出田りあ、管弦楽・横浜シムフォニエッタ、指揮・山田和樹)が世界初演された。

現在、平成音楽大学学長・教授。日本作曲家協議会・日本現代音楽協会・日本童謡協会、各会員。日本音楽著作権協会正会員。全国音楽療法士養成協議会会長。九州音楽コンクール実行委員長。熊本県私立大学協会会長。熊本オペラ芸術協会会長・芸術監督。女声合唱団「平成カンマーコール」常任指揮者。NHK全国学校音楽コンクール・くまもと全国邦楽コンクール等の審査員を務める。

### 柴田 裕二 Yuji SHIBATA 指揮(第1部)

武蔵野音楽大学卒業。南ミシシッピ大学大学院修了。

トランペットをティム・モリソン、アラン・E・カークス、戸部豊、八馬俊也の各氏に師事。

スワニー・サマー・ミュージック・センターオーディション合格。ITG国際トランペット協会奨学金オーディション入賞。タングルウッド音楽祭エンパイア・プラス・セミナーオーディション合格。ミシシッピ音楽家協会コンクール金管部門優勝。

今までに九州交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、サイトウキネンオーケストラ等にエキストラとして参加するほか、ソロ、アンサンブル等幅広い演奏活動を行っている。平成17年、18年3月小澤征爾氏プロジェクトによる「東京のオペラの森」公演にトランペット奏者として参加。

現在、平成音楽大学講師。福岡工業大学吹奏楽団指揮者、九州トランペット協会常任理事、JBA日本吹奏楽指導者協会九州支部常任理事、日本管打吹奏楽学会会員、21世紀の吹奏楽「響宴」会員、九州管楽合奏団トランペット奏者。

### 弘中 優大 Yudai HIRONAKA ユーフォニアム

国立音楽大学卒業。卒業時に同大学卒業演奏会、ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。アーカンソー大学・大学院修士課程修了。

2013年、UARK Concerto & Aria Competitionにて第1位受賞。アメリカ・テネシー州で行われたITEC2016 in Knoxville(国際チューバ・ユーフォニアム大会)コンペティション室内楽部門でファイナル入選(ソロ部門セミファイナリスト)。第32回レオナルド・ファルコーニ国際コンクールアーティスト部門セミファイナリスト。これまでにユーフォニアムを三浦徹、長谷川公彦、Dr. 齋藤充、Dr. ベンジャミン・ピアスの各氏に師事。

2016年に日本帰国後、九州管楽合奏団をはじめ数々の楽団等で客演など、九州・山口を中心に演奏活動、および指導活動を展開している。また、2017年4月には自身発案のオリジナル個人教則本「Ideas for Warm-Up」がウィンズスコア社より発売された。

現在、平成音楽大学講師。はごろもカルテット、ユーフォニアム・アンサンブル・プロッサム各メンバー。福岡ユーフォニアムアカデミー&クワイヤー主宰。

### 平成音楽大学ブラスオーケストラ 吹奏楽

平成音楽大学ブラスオーケストラは、前身の熊本音楽短期大学の時代に、故・小林高彦氏の指揮・指導のもと「管楽研究会」として発足し、1992年に常任指揮者として出田敬三氏を迎え、「熊本音楽短期大学ブラスオーケストラ」として、同年初めて大学の定期演奏会に出演。その後各種演奏等を精力的に行い、1997年には熊本音楽短期大学創立25周年記念「ニューヨーク・カーネギーホール公演」を同大の女声合唱団「カンマーコール」と共にを行い、好評を博した。2001年より九州唯一の四年制の音楽大学「平成音楽大学」となり、「平成音楽大学ブラスオーケストラ」として、短期大学時代の歴史を引き継ぎ、更にレベルを上げるべく積極的な演奏活動を行いながら地域音楽文化に寄与し、社会貢献も含め、独奏やアンサンブル等も編成しコンサートやイベント、レコーディング等幅広い活動を行い、高い評価を得ている。

### 女声合唱団「平成カンマーコール」 合唱

女声合唱団「平成カンマーコール」は熊本音楽短期大学(現・平成音楽大学)の女声合唱団「フラワーエコーズ」と「カンマーコール」の卒業生のメンバーを中心に、熊本オペラ芸術協会や九州各県の音楽愛好者によって、平成19年1月に結成され、現在は平成音楽大学の学生とともに、オペラ合唱、コンサートやイベント出演など様々な活動を展開しています。

当時から指揮者・出田敬三氏(作曲家・指揮者/平成音楽大学学長)を音楽監督・常任指揮者に迎え、芸術性豊かな品性に富む合唱団として活動すると共に、広く地域社会に貢献し、教育・文化の発展を目指しています。

平成22年より毎年、単独コンサートを開催。これまでに台湾・韓国・ニューヨーク・カーネギーホールにおいても公演を行っています。

### 平成音楽大学こども学科 パフォーマンス 指導/亀井裕子、石岡ひろみ

2004年に音楽学部幼児音楽教育学科として設置され、2012年より「こども学科」に名称変更した。「こどもの豊かな感性を育てる」をキーワードに、保育・教育・文化・福祉・医療などさまざまなジャンルで活躍できる幼児教育者を育成しています。幼稚園教諭、保育士として必要な保育・教職科目だけでなく幼児音楽を幅広く研究し、教育現場において子どもたちに音楽の楽しさを伝え、豊かな感受性を育むための指導を適切に行える人材育成を目指しています。卒業生たちが高い就職率を誇っているのは、「音楽の力」をもつ幼児教育者が、社会で認められ、必要とされている証です。